

令和5年度 立川市立立川第九中学校 授業改善推進プラン

<p>学校の教育目標</p>	<p>共生を目指して ○やさしく ～互いに人格を尊重し、協力する人になろう～ ○かしこく ～自ら求め自ら学び、道を切りひらく人になろう～ ○たくましく ～心身ともに健やかで、責任感のある人になろう～</p>	
<p>生徒に育成を目指す資質・能力</p>		
<p>○主体的に学ぶ姿勢 ○既習の知識を社会で活用できる力 ○自他を大切に人権意識</p>	<p>教科や学年全体に共通する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九中スタンダードを活用した授業を行う。 ・ICT機器、Chromebookを活用した授業を行う。 ・数学、英語は習熟度別少人数により個に応じた指導を行う。 	
<p>教科</p>	<p>教科で育成を目指す資質・能力</p>	<p>資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）</p>
<p>国語</p>	<p>○社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う力 ○思考力や想像力を自ら養い、社会生活における人との関わりの中での伝え合う力を高めていこうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特徴を理解して適切に活用するために、漢字や文法・語句の学習を繰り返し行う。 ・互いの立場や考えを尊重しながら、友達の意見を正確に理解したり、自分の考えを適切に表現したりする話し合い活動やスピーチ等を、Chromebookも活用しながら行う。 ・観点を設定した説明文・物語文の読み取りを通して、説明文では論理的に考える力を、物語文では豊かに想像する力を養う。
<p>社会</p>	<p>○グローバル化する社会でより高まる国際競争の中、自立し、生き抜く力 ○世界の人々の営みに共感し、各国の人々と共によりよい未来を創造する力 ○政治的判断ができる能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・古文書の読み取り、戦争体験記からの追体験など、日本の歴史学の主流である実証史学を学べるようにする。 ・Chromebookを用いて個人やグループで各国、地域を調査、レポートなどを作成し、各国、地域への共感を育てる。 ・討論や模擬国会、模擬選挙、株式会社づくりなどを通して、国際情勢、政治、経済、人権などの現代の課題を考察させる。
<p>数学</p>	<p>○基本的な計算手法に習熟し、計算を早く正確に行える力 ○仮定から結論へ至る論理的な思考力を磨き、これを言語と数式処理で正しく表現できる力 ○日常生活の中で直面する課題に対して数学的な知識や既習事項を活用して課題の解決に活用できる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算の反復練習やワーク問題集の時間を通して、計算技能、知識の習得を目指す。 ・定理や公式の有用性を体感することで、それらを積極的に活用し、効率よく問題解決する力を養う。 ・ICT機器を活用した活動（動きを入れた図示の工夫、立体図形を視点を変えて表示など）を通して、物事を視覚化したり多角的に捉えたりする力を養う。
<p>理科</p>	<p>○科学的に探究する能力の基礎と態度 ○観察や実験の記録を目的意識をもって行い、結果から仮説の検証と考察をする力 ○調べた結果をまとめ、説明する、プレゼンテーション能力 ○自然の事物・現象に対する興味・関心を高め科学的に探究する力と態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に自然に触れたり、身近な自然現象を見たり、考えたりすることで、科学を探究する態度を養う。 ・実験の説明を端的にし、安全面に気を配りながら、生徒に考えさせる時間を確保する。 ・Chromebookを用いて、観察や記録をして、振り返る。レポートの発表を通じてさらに理解を深め、自主的に学ぶ態度を養う。
<p>音楽</p>	<p>○表現する楽しさを味わい、生涯を通じて音楽を愛好する心情をもたせるための、音楽の基礎知識 ○様々な音楽のよさを認める受容の心を伸ばして、音楽を愛好する心情</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が思いや意図を表現するために、音楽の諸要素やリズムを捉えられるように、教師はワーク等を用い必要な読譜の基本を定着させる。 ・発表の場で、友達の意見を受容的に受けとめ、様々な考えに触れるようにする。 ・クラシック、伝統音楽、ポピュラー音楽等、多彩なジャンルを教材として取り入れ、ICT機器を活用し自ら調べる学習に取り組ませる。
<p>美術</p>	<p>○豊かに発想できる力や発想したことを適切に表現できる力、粘り強く制作に取り組む姿勢 ○様々な美術作品の鑑賞を通して見方や感じ方を深め、表現の多様性と自身の制作に活用する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントやICT機器を活用し映像資料を充実させ、作品制作と鑑賞の内容に関連性を持たせ、幅広い表現の方法について学べるようにする。 ・生徒との対話を通して、発想を広げたり、アイデアを深めたりする時間もつ。 ・個別指導を通して確実な技能の習得を行い、生徒のやる気を引き出す。
<p>保健体育</p>	<p>○運動における競争や教え合う学習を通して、仲間との立場や考え方の違いを認識し、公平・公正に取り組む中で、互いに協力し、自己の責任を果たす態度 ○健康・安全について運動と関連付けながら知識や技能を身に付け、生活の質の向上を図ることのできる実践力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用して基本的な知識を習得させ、その既習した内容を基に日常生活との関わりについて考えさせる。 ・ICT機器を活用して、自己と他者の違いが比較できるようにする。また改善に向けて具体的な根拠を示しながら自分の考えを相手に伝えることができるよう指導する。 ・どのようにすればチームのパフォーマンスが向上するか議論し検討する場を設定し、チーム力を向上させる活動を行う。
<p>技術家庭</p>	<p>○作業等の活動を通して、主体的に学び、互いに教えあう姿勢 ○学校や家庭など、身近な生活にかかわる問題を見いだして、それを解決する能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Chromebookの活用によって、幅広い知識や生活の課題に気付かせる。 ・授業で学んだ事を家庭で実践し、作成したものを実際に利用できるよう課題を設定し、授業と自身の生活・社会を関連付けて考えられるように指導する。
<p>外国語</p>	<p>○身に付けた知識を場面や状況に応じて表現する力の育成。また、即興的にコミュニケーションをとることができる能力 ○粘り強く学習を継続する力、コミュニケーションを図ろうとする態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通じてペアワークやグループワーク実施する。また、QAテストやインタビューテストなどのパフォーマンステストも行い、学習した表現を用いて書いたり話したりする機会を設ける。 ・即興的なコミュニケーションができるように、日ごろの授業から簡単なフレーズを用いたスマールトークを取り入れる。